

筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月14日(月)19:30~20:10

○場所:下妻小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>最近事件が多い。通学路の安全性が心配。防犯カメラの設置等の充実をしてほしい。 跡地の利用については検討しているか。</p>	<p>安全面の強化について細かくは協議していないが、スクールバスの乗降などこれまで同じように地元の方の協力・連携が必要となる。通学路の整備は行っていく。 跡地については、まだ決めていない。まずは、子どもにとって小学校再編計画をどうすればよいかを決める。その後地域づくりも含め検討する。</p>
<p>新小学校は、水田小近くの家であるが、筑後中近くに建設する考えはないのか。</p>	<p>議会でも筑後中隣接で建設できないかの意見があった。100%否定はしない。これから検討を行っていくが、現在の案の方がよりいいと判断している。理由として費用(経費)・時期(遅れる)・通学路の安全性、また1小1中となり提示案でも小中連携できると考えているからである。</p>
<p>現在、小学生がコミュニティ行事へ参加している。地域との関わり方(見守りなど)については、どうなるのか。大きくなると薄れていくのでは。</p>	<p>今後の関わり方については、スクールバスの運用や徒歩通学の見守り隊などについて協力を依頼することが必要になってくる。再編の方針が決まり次第地域の方との協議が必要になる。今はコミュニティ活動が学校の活動とリンクしているが、学校の活動以外で子どもたちと関わっていくことは可能かと思われる。</p>
<p>旧校区内での関わり方が広く浅くなる。子ども会活動などはどう考えているのか。</p>	<p>子ども会活動は今後も続けてもらいたい。今も、運営に苦勞されているが、地域との関わり方で活発化は可能と考える。学校から距離は離れるが、地域でどう活動するればよいか検討してほしい。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月15日(水)19:30~20:35

○場所:古川小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
水田小学校に新校舎を建設予定ということだが、その間水田小学校はどうするのか。	新校舎は現校舎とは別の場所に建設する予定なので、新校舎建設中も現校舎を使うことができ、水田小学校の運営に支障は生じないと考えている。
スクールバスを利用するということが、保護者としては児童の安全が最も気かり。古川小学校校区のみで考えても地理的に幅が広いので、どこをスクールバスの集合場所とするのか。集合場所までの安全についてはどう考えるか。 また、新溝であれば筑後小学校へ通学したほうが近い。特別許可区についての検討はあるのか。	スクールバスについては、詳細な検討まで進んでいない。まずは基本的な小学校再編の枠組みを考えたい。それによりスクールバスの運行の詳細についても検討をする。枠組みが決定した後に今の質疑のような不安の解消に努める。そのために住民にも入っていただいた組織づくりもする必要があると考えている。 特別許可区については、筑後市では学区制を敷いているので基本的にはこの行政区はこの学校という考えを持っている。それを基本的には崩さない考え方をしていきたいと考えている。また、特別許可区については、古川小学校区のみではなく、筑後市全体にかかわってくる問題であるため再編についての一定の方向性が固まった後に特別許可区についても検討したい。
学童保育所についてはどうなるのか。	新小学校に学童を設置するというのが基本的な考えになる。ただ、運営母体・校区の保護者とも協議する必要もあると考えている。一時的措置として現在の学童の運営もあるかもしれない。
大人数のメリットはわかるが大人数になじめない児童へのケアはどうされるか。	養護教諭を2名体制にしたり、定数外の教員を今より多く配置するなどのケアを考えている。それから例えば3年生から新小学校へ入学するケースでは、事前に2・3年間交流会などの「慣らし」を行うことも考えている。
再編によりかなりの児童数が見込まれると思うが、水田コミセン付近の道路は狭いためその対応はどうするか。	詳細についてはまだ決定していないが、スクールバスの往来に伴って、道路や駐車場の整備は必要になると思っている。徒歩で通学する児童の安全も検討する必要があると思っている。
再編することによって、各校区の文化について学ぶ機会は確保されるのか。	古川小学校区では日源上人について学ぶ機会があるが、一方で筑後市内の古川小学校区以外の児童はあまり知らない状況にある。市南部の各小学校区にはそれぞれ地域の偉人等がいるが、一校にまとまることになるため、学びを広げていけると考えている。
6小学校がまとまれば約850人の児童が同じメンバーで1中学校に通うということになると思う。人数が増えることによって、メリットはあると思うが、同じ顔ぶれのまま小学校・中学校併せて9年間過ごすことのデメリットもあると思う。たとえば6小学校を一挙に再編ではなく、段階的な統合は考えているのか。	850人規模の学校になるということで、北九州の1000人規模の学校へ視察に行ったが、その際に校長から聞いたのが小学生の生活の基本はクラスであって、筑後市でいえば35人。羽犬塚小学校は現状651人規模だが、何ら問題はないと思っている。したがって今回の提案へ踏み込んでいる。久留米市にも同規模の学校はある。そういった実態も踏まえて提案をしている。

<p>【意見】その1000人規模の学校はあくまでも街中の学校であって、筑後市はそういうわけではないため、そのあたりも検討してほしい。</p>	
<p>【意見】私は小学校も中学校も母校はなくなってしまった。母校がなくなるのは時代の流れとしてしょうがなく思うが、今回の再編は1小学校1中学校として心配している保護者も多い。児童数の減少によって今回の再編ということだが、小学校1年生で入学して、1学年150～200人ということで、小学校から中学校までの9年間で人間関係が固定化することも考えられる。羽犬塚中学校区では、小学校2校が中学校で1校になることによって、中学校に入って今まで見えてこなかった児童の姿が見えてくるということもある。人数上の帳尻合わせだけで再編計画を進めてほしくない。また、小学校は地域との結びつきが強いため、小学校がなくなることで地域の活気がなくなってしまうような地域コミュニティの活性化のための施策は実施してほしい。</p>	
<p>再編した際に9年間での人間性の固定化を防ぐために中学校は私立へ行くということが増えることも考えられる。</p>	<p>いろいろな考え方はあると思うが、ここ数年の傾向からすると私立中学校へ進学する割合は小規模校のほうが高いと感じる。母数が少ない中から中学校で一緒になるということへのプレッシャーというのはあると思う。また、人間関係の固定について言えば、4クラスあれば関係性の固定は起こりにくいと思う。それよりも小学校から、もっと言えば保育園から小規模での同じ人間関係が継続するほうが人間関係が固定化する可能性が高い。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月16日(水)19:33~21:00

○場所:古島小学校多目的ホール

質問・意見等	筑後市からの回答
資料に新小学校のメリットの記載はあるが、想定されるデメリットは。	大規模になりすぎて先生の目が届かないことが考えられるが、必ずそうなるというものではない。基本はクラス単位で動くため(今は35人)、一定の目を届かせることはできる。
10年前の枠組みは検討したのか。	検討はしたが、学校が小規模化して、統合を繰り返すことは、好ましくないため、6校統合がいいだろうとの判断をしている。
スクールバスは、各学校まで送迎にくるのか。	未定。保護者の意見を聞いて決めた方がよいので、地元で組織を作るなどして詳細は決めたい。
開校までに複式学級がでてきた場合の対応は。	統合が決まった場合、市費で先生を配置し、複式学級にならないようにしたい。
適正児童数240人から540人を大きく上回ることにどう考えてるか。	今回の提案では、複式学級になる可能性のある学校をなくすことを大きな目的としている。大規模校となっても35人学級など市の政策によって支障はないと考えている。
【要望】反対が多くて再編がなくなることがあるのか。方向性や詳細を決めて説明してほしい。	
【意見】佐賀市より二川小校区に引っ越してきた。再編により、学校が近い地域に人が集まり、過疎地が増える。 子どもの行動範囲が広がることは不安。 スクールバスは、1カ所ではなく充実してほしい。	
これは教育委員会の案なのか。人の分布にも関わることになる、市としての考えは。	案は、教育委員会だけで決定したものではない。庁内で組織を作り、市として決定した案である。 学童、校区コミュニティなどさまざまな関係や課題があるが、まずは、学校教育の充実についての枠組みを固めて、他部署と連携を図り、それぞれの課題にも取り組む。
反対が多ければ、取りやめたり、内容が変わったりするのか。	最終的には、市民の意見を聞いて判断していく。今回の案で決まりではない。
最終的な結論は、いつ決まるか。	今年度中には、一定の方向を導き出したい。情報提供や意見聴取はしていく。
学童保育所はどうなるのか。学童に入れない可能性がでてくるので、子を持つ親の立場で進めてほしい。	新小学校に設置と考えているが、地域との協議が必要である、待機児童が発生しないように取り組んでいく。
人数が多いと学校教育が充実するのか。(今の古島小学校も悪くない。)	複式学級の可能性がある学校の解消などのための提案であり、統合させて今よりも充実させていくという考え方である。

筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月18日(金)19:00~20:35

○場所:水洗小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>大規模校になることで、想定されるデメリットは。</p>	<p>一般的には、人間関係が希薄になる、先生が目が届かなくなる、こまわりがききにくい、などのデメリットが考えられる。国の制度では1クラス40人だが、筑後市は独自に1クラスを35人に引き下げて、学級運営をやりやすくしている。大規模校でもクラスが基本単位となるので、デメリットにならないような工夫をしている。羽犬塚小でも特に問題はないと考えている。</p>
<p>小学校に近いからと家を建てた人もいる。再編計画は案の段階でも早めに公表をして、10年後に開校をするような計画とすべきだったのではないか。</p>	<p>再編については、10年前からすでに議論が始まっており、一度案を出したが決まらなかった。その後児童数の推移を確認しながら状況を見守ってきた。 世の中の情勢や人の動きも変わっていった中で、現実問題として、10年先の再編計画は立てにくいところがある。</p>
<p>スクールバスは、どこが出すのか。また何台出すのか。学校に到着するまでにかかる時間はどれくらいか。児童の帰る時はクラブ活動などがあるのでバラバラだと思うが、どうするのか。</p>	<p>運行は業者に委託することが考えられるが、運行の責任者は市である。バスの大きさ、ルート、範囲等の詳細が決まらなないとわからないが、大まか10台程度ではないかと考えている。 時間についても、バスの停留所、ルート等の詳細が決まらなないとわからない。バス停まで徒歩で歩くことも踏まえて、詳細は話し合っ決めていきたい。 下校時のバスは、低、中・高学年別に出すことになるだろう。 クラブ活動は任意であるので、保護者の送迎が原則だと考える。</p>
<p>運動会などの大きな行事のときに駐車場の確保はできるのか。</p>	<p>駐車場の問題は認識している。臨時的に駐車場を工面する必要もあると考えているので、今後検討していく。</p>
<p>広範囲から徒歩で通ってくることになるが、通学路の整備は計画しているのか。横断歩道、信号等の整備が必要なところは、今から始めて36年開校に整備が間に合うのか。スクールバスの児童もバス停までの通学路整備が必要。また、帰りの時間帯が見守りが手薄になるので防犯上の心配がある。通学路についての不安が解決しないのに、子どもを通学させられない。</p>	<p>通学路についての不安は理解している。今回の提案は案であるので、学校の数、場所などが決まってから具体的に通学路の整備を進めていく。通学距離の考え方は、直線距離で2km以内に収まる行政区の児童は徒歩としている。現在市内の児童で徒歩通学の最長距離は2.7kmなので、現状にあわせて設定している。 通学路については、毎年、学校から危険箇所をあげてもらい、国・県・警察と協議をして整備している。整備にあたっては危険度により優先度も違うので、地域の方の見守りによるところもある。開校までに、通学路の安全を確保するための環境整備に最大限努めたい。 現在でも地域の方に見守りをいただいているが、統合してスクールバスになっても、これまでどおり地域のみなさんの協力をお願いしながらやっていきたいと考えている。</p>
<p>6校統合後の施設の維持管理について、体育館の利用など検討しているのか。</p>	<p>旧小学校の跡地の利用については、再編の枠組みが決まった後に検討していく。</p>

<p>小学校の体育館は災害の際の避難所となっているが、どう考えているのか。</p>	<p>小学校の体育館が避難所として適当であるのか、という議論もあっており、いくつかの小学校では避難所を公民館に切り替えている地域もある。今後、検討していきたい。</p>
<p>中1ギャップは先生から聞いているのか。当事者の生徒の意見を聞くことも大事ではないか。</p>	<p>現在も小中連携をしているが、筑後中の課題として認識している。先生方は生徒の意見を聞いたうえで課題としてあげているので、生徒に直接聞くことまではしていない。統合が決まった後は、児童たちの負担にならないよう、いきなり統合ではなく、他校の児童との交流を図りながらやっていきたい。</p>
<p>統合によって、税金にどれくらい影響があるのか。</p>	<p>6校を1校に統合した場合の学校施設整備・管理の財政上の試算は、概算だが50年間で約20億減になるので支出は大きく削減される。 税金が少なくなるわけではないが、削減分を福祉や子育て、道路建設等に回せると考えていただきたい。</p>
<p>学童保育所については併設するのか。</p>	<p>基本は新小学校に大きな学童を設置することを考えている。ただ、運営組織や校区の保護者とも協議する必要もあるので、一気に新学童にできるかは未定である。経過措置として現在の学童を利用することも考えられる。</p>
<p>10年前の古島・二川・下妻小の統合案への反対意見はどういうものだったのか。</p>	<p>10年前は、地域が疲弊する、時期尚早、児童を増やすための対策をとるべき、という意見が多かった。この10年間、市としてもいくつか対策を打ったが、筑後中校区の児童数は減少してきている。農地から宅地に変更することは難しいため、今後も児童数が増えることは見込めない。小規模校の複式学級を回避することが現在の課題であるので、複式学級を回避するには統合を実現しなければならないと考えている。</p>
<p>統合が決まったら、開校する前に説明をしてもらう場があるのか。また、保護者が意見を言える場があるのか。</p>	<p>今年度中に統合枠組の方向性を決めたい。方向性が決まったら、次の段階で詳細をみなさんの意見を聞いて決めていきたい。開校までの間には、校名、校歌、カリキュラム、スクールバスの運行など細かいところを決めないといけないので、決めるための組織を設定することになっている。そこに地域の方や保護者も入ってもらい意見を出していただきたい。</p>
<p>通学路等の詳細が決まっていない状態でも統合を決めてしまうのか。統合が確定してから、詳細の内容を煮詰めるということで進められるのか。詳細がわからなければ、賛成・反対の判断はできない。意見・質問等に対する検討結果などの情報がわかるようにしてほしい。</p>	<p>現段階としては、今年度までに枠組みの方向性を決めたい。情報提供の手順の部分は決め切れていないので、いただいた意見を内部でも検討して今後どういう形でフィードバックしていくのかを考えていきたい。</p>
<p>6校統合のメリットが感じられない。大規模校がいわけではない。児童数が少ないところから統合して、段階的に広げていくやり方でもよいのではないか。</p>	<p>児童数が少ないところを統合しても、児童数は今後もさらに減少していくので1クラスになることが見込まれる。クラス替えができないことは課題であるので、6校統合によって解消したい。</p>
<p>今回の計画も反対が多ければ、変更するのか。</p>	<p>校区ごとに意見は少しずつ違っている。今回の案は確定ではないので、説明会の後、議会との協議を踏まえて決定していく。</p>

筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月22日(火)19:00~20:35

○場所:二川小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
スクールバスの起点(バス停)はどこか。	具体的には決めていない。再編の枠組みが決まり次第、安全面などを考慮し、保護者の意見も踏まえて決めていく。
各小学校のスポーツ少年団の統廃合は考えているか。	設立趣旨や地域の状況がそれぞれ違うので分からない。旧校区でということもあるだろう。
新小学校の開設時期に、小学校6年生になる子どもがいる。6小学校の6年生が突然一緒になることによる学校生活でのギャップ対策はどうするのか。	例えば、開設2年前から学年ごとの行事(修学旅行等)を合同で行うなど、交流を深めていく。また、統合が決まれば国からの加配教員が配置されるので、うまく活用しながらギャップ対策をする。
10年前は3校の統合案だったが、なぜいきなり6校なのか。	再編する理由として児童数減少、校舎の老朽化の問題がある。各学校の課題は違うが、2段階での統合は無駄が生じる面もあるので少し大胆ではあるが、まとめて統合することで持続可能な学校にする。
とりあえず3校で統合すれば、スクールバスの実施等もテストできるのではないか。	昭和62年の児童数は下妻小古島小、二川小を合わせて600人を超えていたが、平成29年は約250人。これは適正な学校の最低限児童数の240人にほぼ近く、3校を統合しても適正児童数を何年維持できるか分からない。再編回数は少ない方がよい。
1小1中となると9年間同じメンバーになるので、新しい人間関係を築く力が育たず、高校で新しい友達ができるかが心配だ。	小学校は4クラスとなり、2年に1回はクラス替えがあるので、新しい出会いがある。人間関係を築く力は育つと考えている。
児童数が多くなれば、きめ細やかな教育ができなくなるのではないか。	児童数によって教育の質が変わるかどうかが、考え方は人それぞれなので、小規模がいいか、大規模がいいかというのは比べられない。ただ、今後の子どもたちのコミュニケーション能力や人間関係構築という点で考えると、少なくとも今よりも大きい学校で学んだ方がいいと考えている。学校が大きくなれば、全体の事故やいじめなどの件数は多くなるが、子どもたち一人あたりの件数が増えるわけではない。
児童数が850人。筑後市で一番のマンモス校となるが、一人ひとりに目が行き届かなくなるのでは。3、4校での統合はできないのか。	文科省は一クラスあたりの児童数の上限を40人としているが、筑後市は35人なので目が行き届かないことはない。また、児童数が増えれば教員数も増え、多くの目が行き届く。 3、4校での統合も検討したが、また児童数が減って再編となれば、より多くのエネルギーを費やすことになるので、この機会にまとめて統合したい。
この説明会后、どのように決定していくのか。見える形で出してもらえるのか。	保護者・役員・住民説明会での意見を整理し、議会に提案する。議会が出た意見等について協議しながら一定の方向性を決める。どのような形で情報提供するかについては検討していく。

<p>旧学校の跡地、校舎はどうなるのか。何も考えてないことはないだろう。</p>	<p>そこが議論に入ると、論点がずれてくるので考えていない。再編の枠組みが決まってから決定していく。</p>
<p>小学校が遠くなるので、近い所に引っ越す人が増え、地域が活性化しないのでは。 学校と地域のつながりも希薄になる。</p>	<p>大きい学校にいけるメリットを感じる方もいるだろう。希薄になる部分もあるかもしれないが、二川校区はコミュニティや子ども会などはきちんと活動されているので、工夫次第で関わりができる。またバス停までの道のりなど、今までどおり見守りなどを願うので、地域との関わりはなくなる。</p>
<p>建設予定地は住宅地が密集しているが、運動会などイベント時などの駐車場の確保はどうするのか。</p>	<p>臨時駐車場の確保等を検討し、迷惑がかからないようにする。</p>
<p>新小学校の開設時期が平成36年4月より早くなることはあるか。</p>	<p>ない。</p>
<p>古川小のこたばの教室はどうなるのか。</p>	<p>基本的には、特別学級など今ある機能は継続していく。</p>



筑後市立小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成30年5月24日(木)19:00~20:15

○場所:水田小学校体育館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>直線距離で学校から2km以上の行政区がスクールバスを利用可能ということだが、2km以上というのは遠く感じる。もう少し距離を縮められないか。</p>	<p>当初は3km以上という構想だったが2km以上に縮めている。市内では現状2km以上を通学している児童も多くいる。その現状を変える必要はないと考えている。これが遠いか近いかということについての感じ方は様々だと思う。また、国の基準では通学距離は4km以内となっている。</p> <p>今回直線距離で2km以上と提案しているのは、現状最も長い通学距離を歩いているのは羽犬塚小学校区で2.7km。直線距離で2kmであれば、歩く距離は2.5km程度になるであろうと考えている。また、仮に1.5km以上でスクールバスを利用することになれば、今回の再編の対象校以外でも1.5km以上歩いていればスクールバスの利用ということになる。したがって、今回の直線距離で2km以上の行政区でのスクールバス利用を提案している。</p>
<p>小学校の児童数の問題・建物の問題はわかるが、問題視しているのは1つの小学校が1つの中学校に上がるということで、同じメンバーで学校生活を過ごすことに対して、小学校から中学校に上がることによる新しい交流・幅広い人間関係の交流は生まれるのかということ。</p>	<p>意見として承る。我々としてはできると思っている。小学校を卒業し、中学校に入学するというのはいつの区切りになり、新たな出会いは生まれると考えている。</p>
<p>大規模校になるということで、資料に記載はないが大規模校のデメリットはないのか。あるのであれば手立てをどう考えているか。</p>	<p>デメリットは児童同士の人間関係が希薄になるとか児童1人1人の特性を見極めた教育がしにくくなるということが一般に言われている。1000人規模の学校へ視察に行ったが、私たちの認識としては児童の生活単位は学級であり、学校全体の規模よりも学級の規模のほうが重要であると考えている。国の学級規模としては40人以下だが、筑後市では35人以下学級を実施している。より教員が児童の実態を把握できるように対策をすでに実施している。また、小学校が再編されれば、養護教諭の2名体制や、スクールカウンセラーの配置という対応も考えている。</p> <p>児童数が増えれば教員の数も増え、教員がチームとして児童を見守り、より多くの目で見守ることができるようになると考えている。</p>
<p>水田小学校はクラス替えができ、その他の再編対象校はクラス替えができないことが問題ということであったが、クラス替えができない学校のみでの再編は考えなかったのか。</p>	<p>検討はしたが、現状の小規模校同士を再編しても数年後には再度再編の必要が生じ、教職員・児童・保護者もそのたびに多大なエネルギーを消費することになる。今回はあくまで、持続可能な教育環境の実現を求めている。</p>
<p>反対意見が多かった場合は再編を中止するのか。</p>	<p>この案で進めたいと考えているが、今後のアンケートの結果、反対意見が極端に多ければ、10年前のように再編を見送らざるを得ないかもしれない。</p>

<p>学童については新設校に併設するとのことだったがよほどの規模でなければ、併設された一か所のみでは不足するように思う。不足分を補うために既存の学童を使うというのも現実的でないように思うが</p>	<p>既存の学童を経過措置的に利用することはあるかもしれないが、新設校に学童を併設するのが基本的な考え。一つの大きな学童を設置することによって、そこでも新たな交流・幅広い交流が生まれると考えている。</p>
<p>(学童の)建物を作るのはいいと思うが待機児童が増えないような配慮をしてほしい。</p>	<p>そうならないように最大限の努力をしたい。羽犬塚小学校の学童は3か所3カ所バラバラに建設されたが、新設校には1度に大きな学童を建設したい。</p>
<p>再編され、使用されなくなった小学校の利活用はどうされるのか。</p>	<p>まだ決定していない。再編の枠組みが決定した後にそちらについても検討する。地域の皆様とともに検討しなければならないと思っている。</p>
<p>スクールバスはどこを起点として児童が乗り降りするのか。</p>	<p>スクールバスについては、発着場所及び運行ルートについてははまだ決定していない。再編の枠組みが決定したのちに組織を立ち上げ検討していく。そのほうがより利用者にとって便利になると思う。大変気になる部分であろうと思う。校区ごとによってニーズも異なると思う。各校区において、検討していただくことを構想として持っている。校区ごとに検討委員会を立ち上げていただければと思う。</p>
<p>今の水田小学校の建物について、新設校開校までの間、施設面の改善のため何か手立てを考えているのか。</p>	<p>抜本的な対策はできないが、必要な対応はしていく。児童に迷惑がかからないよう努力する。</p>